

報告日 令和7年8月7日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	多肥地区コミュニティ協議会			代表者名	会長 喜多敬三
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	多肥コミュニティセンター	連絡先電話番号	087-889-4956
担当者役職	事務局員	担当者氏名	加藤亜紀子	連絡先E-mail	
住所	761-8076 香川県高松市多肥上町433-5				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	高松市	連絡先部署	協働コミュニティ推進課		
担当者氏名	金川 邦広	連絡先電話番号	087-839-2277	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	多肥地区まちづくり事業		
概要	多肥地区のまつりでは前売り券による集金業務に課題があり、業務効率化のためにシステム化を検討しており、専門家への相談を希望している。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成）働き方 自治体システムの標準化・共通化				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月6日	支援・助言(実地)	9時30分	12時00分	
				活動時間（分）	150

2-2.

会場名	多肥コミュニティセンター	最寄駅	太田駅
派遣場所	所在地 香川県高松市多肥上町433-5	最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	米谷 雄介
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現場の業務に寄り添いながら、現場の我々が自ら運用できるレベルのテクノロジーで、課題を解決する仕組みについて、ペアプログラミングで一緒に考えてくださったことです。本番運用は、来春の「多肥さくらまつり」を予定しており、地域で自走できる仕組みとして根付いていければよいと思います。
アドバイザーへの要望事項	デジタル実装を進めるにあたり、行き詰まった際には相談させていただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	3人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	0	0	3	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	多肥地区コミュニティ協議会では、夏季と春季の年2回、まつりを開催している。多肥地区には、四国で最も児童生徒数の多い多肥小学校があり、毎回の参加者は3,000人を超える。バザーでは、焼きそばやフランクフルトなど、さまざまな出店が並び、出店者は地域のボランティアで構成されており、必要最低限の金額でやりくりしている。そのため、前売り券販売制度を導入しているが、集金のフェーズでは多大な工数がかかっているうえ、集計作業においても申込総額と実際の集金額が一致しないケースがあり、地域住民との連絡や金銭授受に手間がかかっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	上記の課題を解決するため、既存の業務フローを見直し、一部をシステム化することで業務の効率化を図りたい。本システムを多肥地区コミュニティ協議会の本番運用に載せ、これまで延べ120時間かかっていた作業を1割程度に低減することを目標とする。システム化することで、申込者側の計算間違い等のミスがなくなり、実行委員会側も集計作業が効率よく行うことができ、拘束時間等の負担を減らすことができる。2026年2月までに目標を達成し、2026年3月の多肥さくらまつりの前売り販売での本システムのPoC（概念検証）をおこない、効果が検証できれば本番運用に移行する。

